

2021年1月24日、カルチャー日吉、日曜英検開催日。

積雪の予報だったのですが、お空も応援してくださったのか、雨と曇りと時々薄日が差すお天気となりました。

2020年春、世の中が一変しました。子供たちも友達との時間や学びの場を奪われてしまうなど、悔しくて悲しくて淋しい思いをいっぱいしてきたことでしょう。そんな最中での英検受験でした。

2020年の春と秋は、コロナ感染から子供たちを守るため、カルチャー日吉では英検開催を断念せざるを得なかったのですが、子供たちはまったくモチベーションが下がることなく、ただただ淡々と学びを継続していました。止まることをしない子供たちは、ほんとにすごいです！私ども講師陣は、子供たちの姿から多くを学ばせてもらっています。

英検受験希望者を募った10月ごろ、まだそのころは希望者は6名程度しかいませんでした。

ところが、1か月もしない間に、「わたしも、ぼくも」と名乗りを上げ、結局4級5級を合わせて19名の児童が、英検受験に挑んでくれました。このコロナ禍で英検にチャレンジしてくれたことに、心から尊敬の意を込めたいと思います。

大変心苦しかったのは、蜜をさけるため席の増設ができなかったこと。お断りをさせていただいた方、3級以上を受験される小学生のみなさんには、カルチャー日吉での受験教室をご用意できず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

窓を開け放ったままの教室、マスクをつけたままでのテスト、そしてなによりもお友達同士、教室内でワイワイ会話することも禁止・・・と、小学生には過酷な状況を与えてしまったことも、とても心苦しく思っています。

が、みんないつもと変わらず、試験に臨んでいる…信じられませんでした。子供たちは大人が思うより強くて勇ましく、そしてとっても優しいですね。

カルチャー日吉の子供たちは、自分からどしどし英検にチャレンジしてくれて、なによりもそれが頼もしく感じます。ときおり、私のほうが「置いてけぼり」を感じるくらいです。

大人は、とにかく子供たちの成績や普段の学習姿に一喜一憂しがちです。が、23年も小学生の英語講師を続けていると、子供たちの精神力には、驚かされることばかりです。成長しない子供はいないのです。

今までは、試験終了後の退室時に、ハイタッチとねぎらいのハグ・・・が恒例（毎回、子供たちには「それはないわぁ〜」と笑われていましたが！）だったのですが、今年はそれもできず・・・

ハイタッチもねぎらいのハグもできなかったけど、このコロナ禍で英検にチャレンジしてくれたことに、心から尊敬の意を込めたいと思います。

本当にお疲れさまでした。そして、ご家庭でたくさんのサポートをしていただき、心より感謝しております。本当に今日まで支えていただきありがとうございました。

